



さくらさくプラス

SAKURASAKU PLUS

株式会社 さくらさくプラス  
2021年7月期第2四半期決算説明資料

証券コード：7097

2021年3月12日

さくらさくみらい

SAKURASAKUMIRAI

---

会社概要 P. 3

---

2021年7月期第2四半期決算概要 P. 9

---

2021年7月期業績予想 P. 16

---



さくらさくプラス

SAKURASAKU PLUS

# 会社概要



さくらさくみらい

SAKURASAKUMIRAI

会社名 株式会社さくらさくプラス

設立 2017年8月

上場 2020年10月(東証マザーズ)

マネジメント 代表取締役社長 西尾 義隆 (写真右)  
取締役副社長 中山 隆志 (写真中)  
取締役専務 森田 周平 (写真左)



よろこびや  
うれしさを  
ともに

所在地 東京都千代田区有楽町1丁目2番2号 東宝日比谷ビル

資本金 53,897万円 (2021年2月末)

事業内容 保育所の運営及び保育所の利活用を想定した不動産の仲介

株式会社さくらさくみらい (100%子会社)

株式会社さくらさくパワーズ (100%子会社)

関連子会社 宅地建物取引業者 東京都知事 (1) 第103379号

株式会社あかるいみらいアセット (持分法適用関連会社)


Hana TED.,JSC (ベトナム：持分法適用関連会社)





2009年5月、事業譲渡により「りよくちさくさくほいくえん」（認可外保育施設）を個人事業として開設・創業しました。同年8月に株式会社ブロッサムを設立。2017年の株式移転により、株式会社ブロッサムの完全親会社として「さくさくプラス」を設立しました。

2009年 株式会社ブロッサム（現「株式会社さくさくみらい」）設立

2010年  「わこうさくさくほいくえん」（現「さくさくみらい和光」）開設

2011年  「つきしまさくさくほいくえん」（現「さくさくみらい月島」）開設

2014年  「もとまちさくさくほいくえん」（現「さくさくみらい元町」）

 「ぜんげんじさくさくほいくえん」（現「さくさくみらい善源寺」）同時開設

2017年 株式移転により株式会社さくさくプラスを設立  
株式会社ブロッサム（現「株式会社さくさくみらい」）を完全子会社化



2018年 株式会社さくさくパワーズ設立 宅地建物取引業者 東京都知事免許(1)103379号  
運営施設数40園



2019年 社名を株式会社ブロッサムから株式会社さくさくみらいに変更  
株式会社あかるいみらいアセット設立  
Hana TED.,JSC設立（ベトナム）



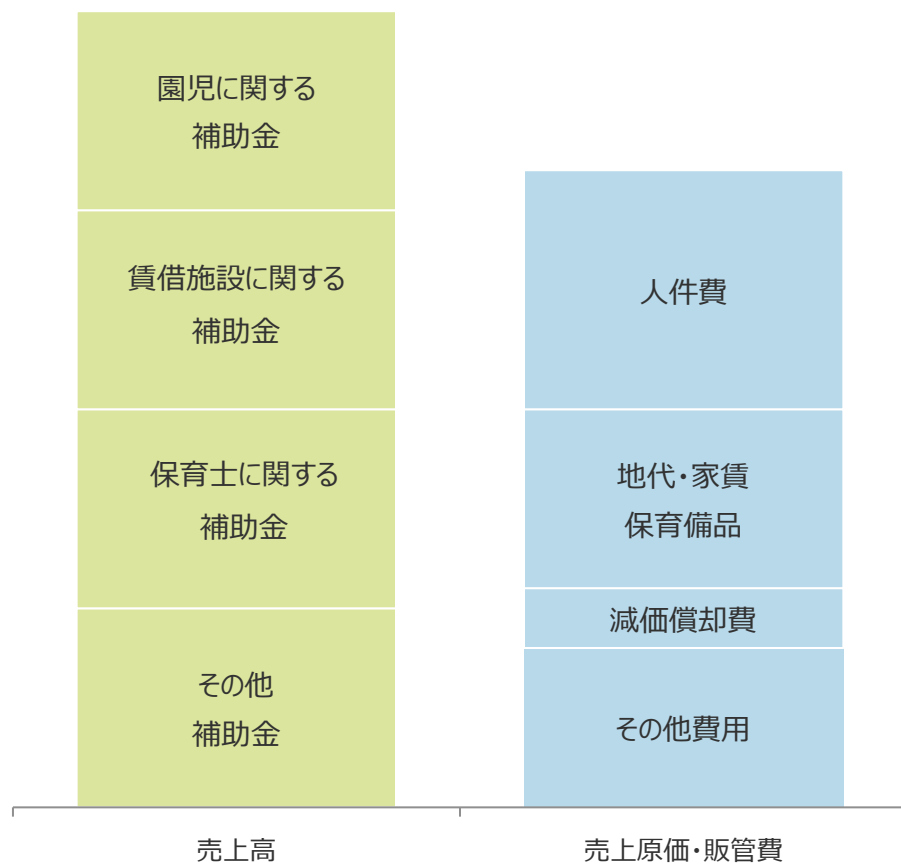
2020年 東証マザーズ上場  
運営施設数60園

子会社「さくらさくみらい」は保育運営を、「さくらさくパワーズ」は宅地建物取引業者として保育所の開発促進や不動産仲介コンサルティング業務を行っています。保育ニーズが最も高い、東京都の認可保育所をメインに事業展開しています。

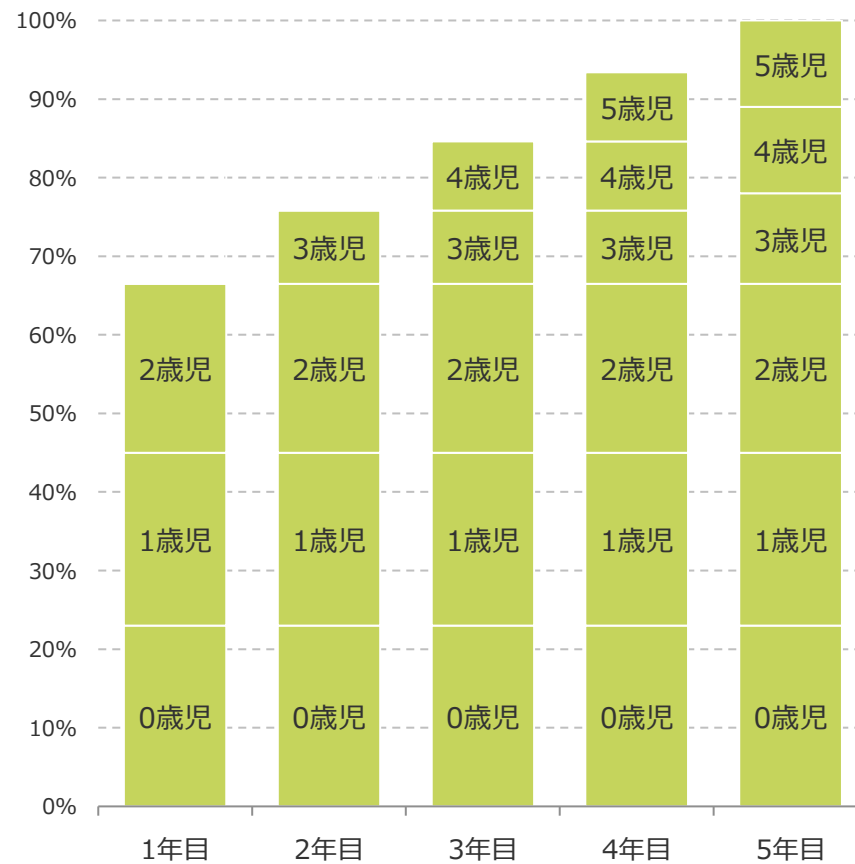


待機児童の多くは0～2歳児です。開所直後は3～5歳児クラスが少なくなります。数年を経て持ち上がってくることで収益が最大化します。運営補助金以外にも、保育所開設に伴う内装費・備品などの補助金があり、営業外収益に計上されます。

## 売上高と売上原価・販管費イメージ



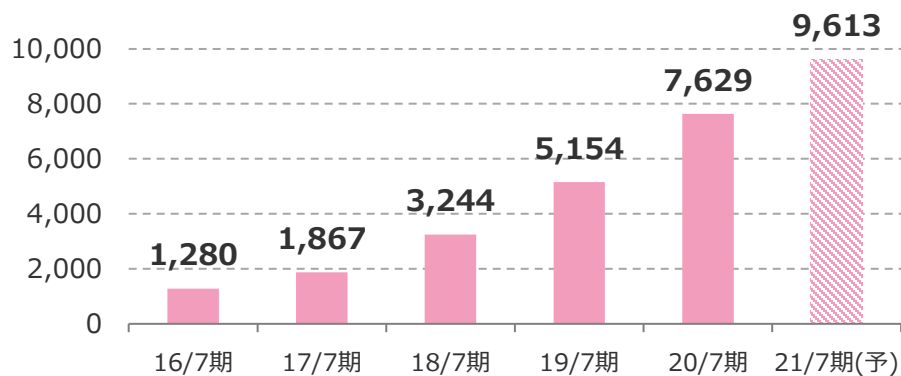
## 保育所1カ所当たり収益イメージ



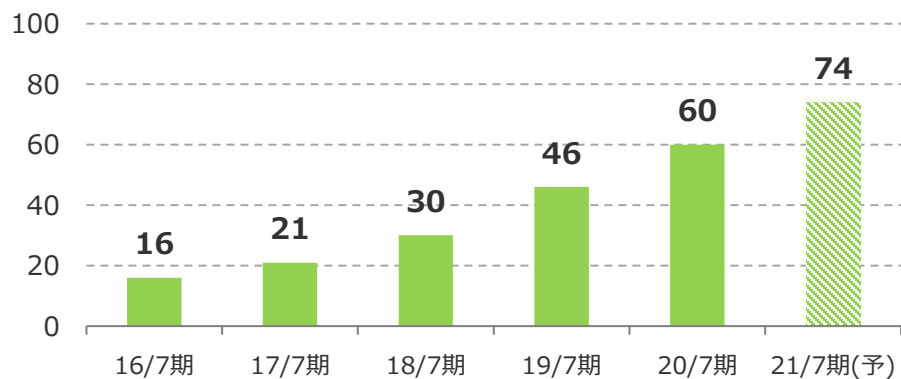
安定して保育所を開設していることにより、過去5年間で売上高は約8倍、当期純利益は約28倍となっています。

## 売上高

(単位：百万円)

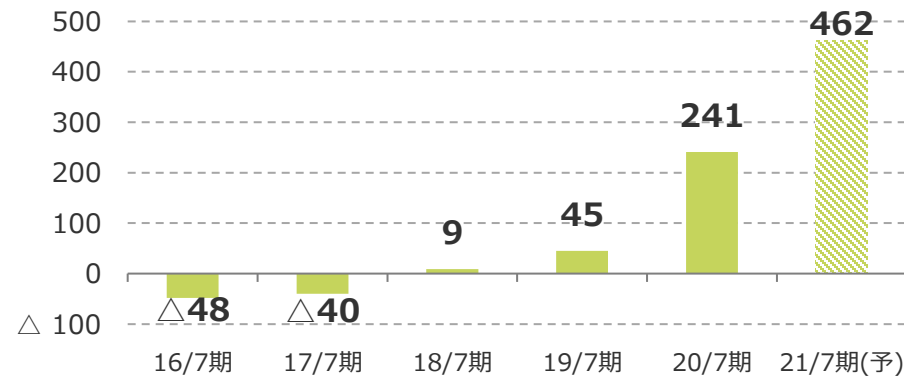


## 保育所数



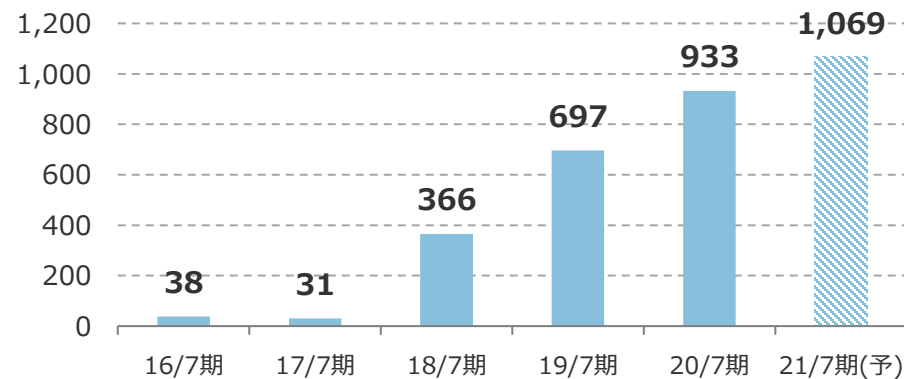
## 営業利益

(単位：百万円)



## 当期純利益

(単位：百万円)







さくらさくプラス

SAKURASAKU PLUS

# 2021年7月期第2四半期決算概要



さくらさくみらい

SAKURASAKUMIRAI

2021年7月期第2四半期累計は増収営業増益となりました。運営施設の開設により園児数が増加したためです。一方で、開業準備費が先行して発生するものの施設開設に係る補助金収入は第3四半期以降に計上見込のため、経常利益は赤字となりました。しかし、通期の保育所開設数は前期と同じ14施設が承認済みであり、第3四半期には経常利益、純利益とも黒字を計画しております。

売上高  
**43.8**億円

運営施設数が前期末の46施設から61施設に増加し、園児数も増加したことから、前年同期比31%増収

営業利益  
**1,100**万円

増収により、営業利益は増加

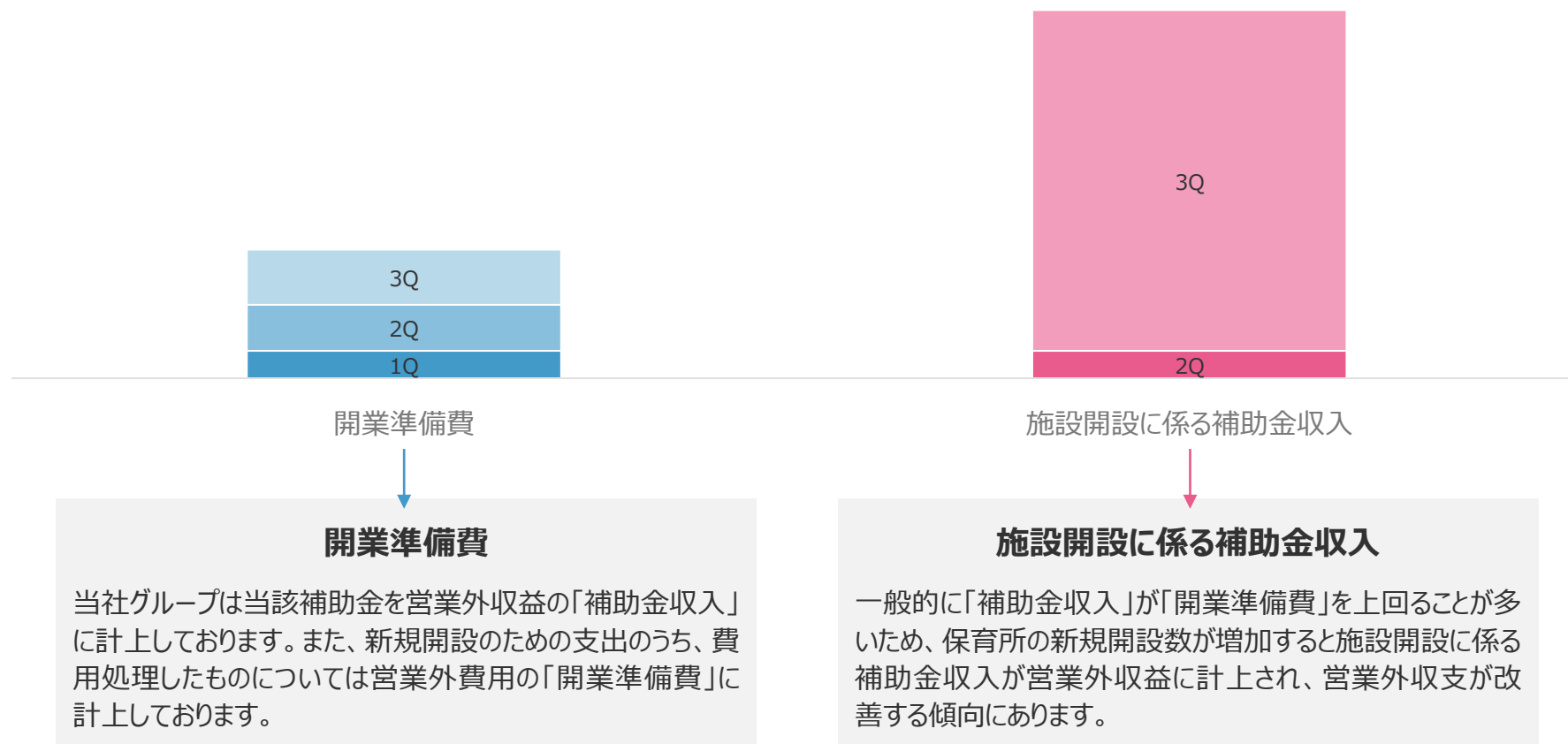
経常利益  
**△1.3**億円

前期は保育所を上期に3施設開設しており、補助金収入を4.7億円、開業準備費を2.2億円計上。一方当期は上期に1施設が開園し、補助金収入を1.5億円、開業準備費を2.4億円計上したことから経常赤字となった

(百万円)	2020年7月期 2Q実績	2021年7月期 2Q実績	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	3,352	<b>4,382</b>	1,030	30.7%
営業利益	3	<b>11</b>	8	266.7%
経常利益	219	<b>△134</b>	△353	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	138	<b>△161</b>	△299	—

新たに認可保育所を開設した場合、新規開設のための支出の一部（内装工事等）に対して自治体から補助金が交付されます。当社グループにおける保育所等の新規開設は4月が中心となっており、第1四半期から第3四半期（8月～4月）に開業準備費等が先行的に発生する一方で、第3四半期（2月～4月）に施設開設に係る補助金収入が多額に計上される傾向にあります。

## 保育所の開設に係る費用と補助金収入のイメージについて



# 2021年7月期第2四半期貸借対照表

保育所の新規開設に備えた公募及び借入による資金調達により、資産の部において現預金が増加し、負債・純資産の部において純資産及び長期借入金が増加しています。また、運営施設数の増加に伴い、資産の部において未収入金及び固定資産が増加しています。

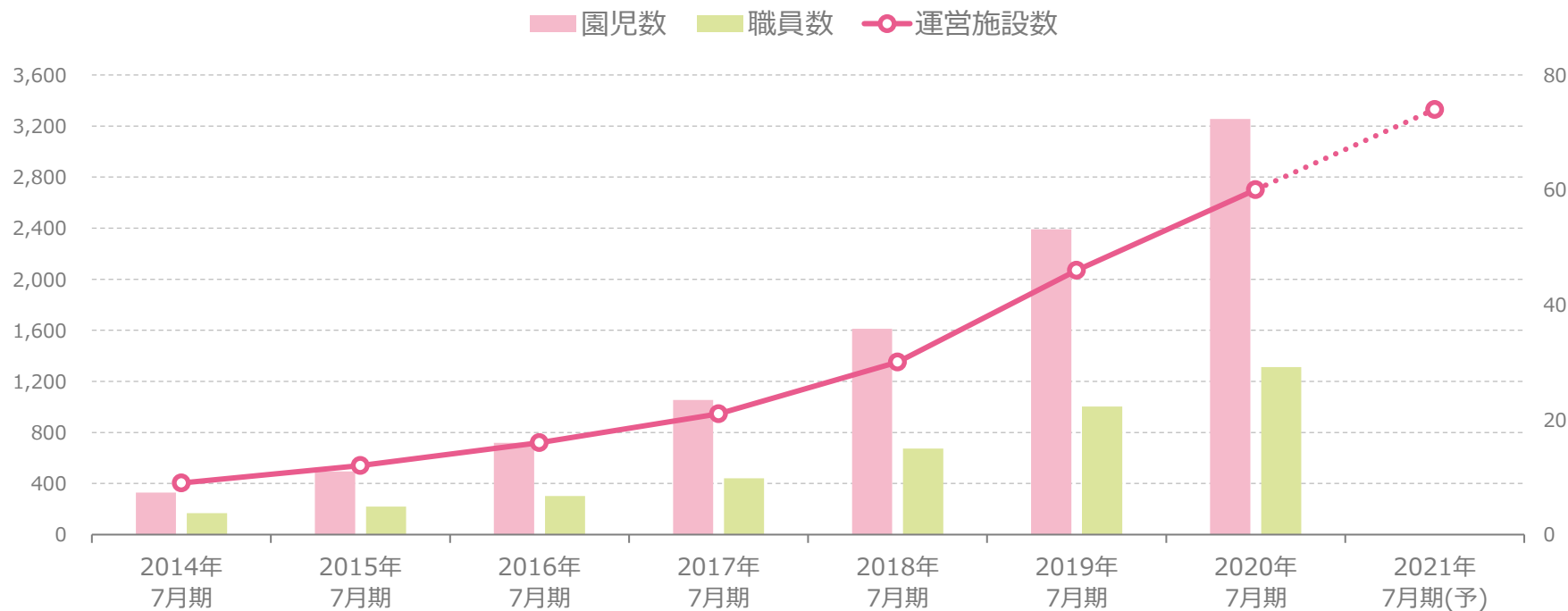
なお、負債の部における長期借入金の増加分については、第3四半期の補助金によりその大部分を返済する予定です。

(百万円)	2020年7月期実績	2021年7月期2Q実績	前期末比
<b>資産の部</b>			
流動資産	1,611	3,543	1,932
現金及び預金	799	2,139	1,340
未収入金	610	1,117	507
その他	202	288	86
固定資産	6,445	7,275	830
有形固定資産	5,929	6,723	794
無形固定資産	23	31	8
投資その他資産	493	521	28
<b>資産合計</b>	<b>8,056</b>	<b>10,818</b>	<b>2,762</b>
<b>負債・純資産の部</b>			
流動負債	2,351	2,740	389
短期借入金	868	1,034	168
1年内返済予定の長期借入金	575	687	112
その他	908	1,019	111
固定負債	3,421	4,988	1,567
長期借入金	1,522	3,076	1,554
その他	1,899	1,912	13
<b>負債合計</b>	<b>5,772</b>	<b>7,688</b>	<b>1,916</b>
純資産	2,284	3,090	806
<b>負債・純資産合計</b>	<b>8,056</b>	<b>10,818</b>	<b>2,762</b>

# 運営施設数及び職員数・園児数の推移

運営施設数の増加に伴い、園児数も順調に増加しています。

新規開設施設の職員についても採用は順調に進捗しています。



運営施設数	9	12	16	21	30	46	60	74
園児数	328	494	718	1,055	1,612	2,391	3,255	—
職員数	169	220	303	441	674	1,002	1,313	—

\*職員数は派遣社員を含む期末在籍者数

政府は2020年12月21日付で「新子育て安心プラン」を打ち出しました。同プランにおいては、待機児童の解消に向け2021年度から2024年度までの4年間で14万人分の保育の受け皿を整備する方針としております。同方針を背景に共働き世帯数の増加や、女性の就業率の上昇から保育ニーズも強くなっていくと予想されます。

	2013年度	2018年度	2021年度	2024年度末
プラン	<b>待機児童解消加速化プラン</b> 目標：5年間で約50万人		<b>子育て安心プラン</b> 目標：3年間で約32万人	
	<ol style="list-style-type: none"> <li>賃貸方式や国有地も活用した保育所整備</li> <li>保育を支える保育士の確保</li> <li>小規模保育事業の支援</li> <li>認可保育所を目指す認可外保育所の支援</li> <li>事業所内保育所の支援</li> </ol>		<ol style="list-style-type: none"> <li>保育の受け皿の拡大</li> <li>保育の受け皿拡大を支える「保育人材確保」</li> <li>保護者への「寄り添う支援」の普及促進</li> <li>保育の受け皿拡大と両輪の「保育の質の確保」</li> <li>持続可能な保育制度の確立</li> <li>保育と連携した「働き方改革」</li> </ol>	
			<ul style="list-style-type: none"> <li><b>第2期市町村子ども・子育て支援事業計画の積み上げを踏まえ、保育の受け皿を整備</b></li> <li><b>できるだけ早く待機児童の解消を目指すとともに、女性(25～44歳)の就業率の上昇に対応</b>                      (参考) 平成31年：77.7%、現行の子育て安心プランは80%に対応、令和7年の政府目標：82%(第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略)</li> <li><b>地域の特性に応じた支援を実施</b></li> <li><b>仕事・職場の魅力向上を通じた保育士確保を推進</b></li> <li><b>幼稚園・ベビーシッターを含めた地域のあらゆる子育て資源を活用</b></li> </ul>	
整備状況	<b>53.5万人</b>		<b>20.1万人</b> (2019年度末時点)	

当社は戦略として東京都認可保育所に特化して開所をしていくことで東京圏の保育ニーズに対応していきます。

## 新子育て安心プランの概要

2021年度から2024年度末までの4年間で  
約14万人分の保育の受け皿を整備する

### 1. 地域の特性に応じた支援

- 新子育て安心プランにおける支援のポイント
- 保育ニーズが増加している地域への支援
  - － 新子育て安心プランに参加する自治体への整備費等の補助率の嵩上げ
- マッチングの促進が必要な地域への支援
  - － 保育コンシェルジュによる相談支援の拡充
  - － 巡回バス等による送迎に対する支援の拡充
- 人口減少地域の保育の在り方の検討

### 2. 魅力向上を通じた保育士の確保

- 保育補助者の活躍促進・短時間勤務の保育士の活躍促進
- 保育士・保育所支援センターの機能強化

### 3. 地域のあらゆる子育て資源の活用

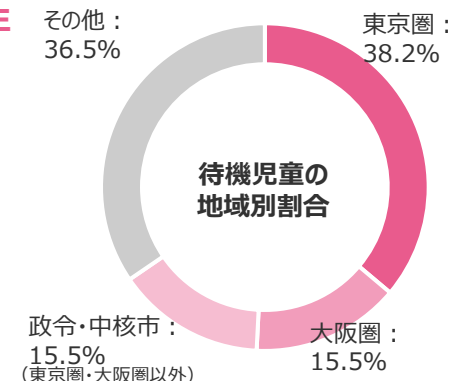
- 幼稚園の空きスペースを活用した預かり保育や小規模保育の推進
- ベビーシッターの利用料助成の非課税化【令和3年度税制改正で対応】
- 企業主導型ベビーシッターの利用補助の拡充
- 育児休業等取得に積極的に取り組む中小企業への助成事業の創設

## 保育に関する現状

### 1. 待機児童の現状

待機児童の6割超が都市部で発生

- そのうち東京圏が38.2%を占める



### 2. 保育士確保の現状

保育士の確保を進めるに当たり、  
保育業務に関する以下の課題が存在する。

- 保育士が退職した理由（複数回答）
  - － 仕事量が多い：27.7%
- 保育士が再就業する場合の希望条件（複数回答）
  - － 勤務時間：76.3%
  - － 雇用形態(パート・非常勤採用)：56.0%

※いずれも「東京都保育士実態調査報告書」（令和元年5月公表）より



さくらさくプラス

SAKURASAKU PLUS

# 2021年7月期業績予想

さくらさくみらい  
SAKURASAKUMIRAI



通期計画は期初計画から変更ありません。

当期は保育所数が60施設から74施設に増加するため前期比26%増収を見込んでおります。

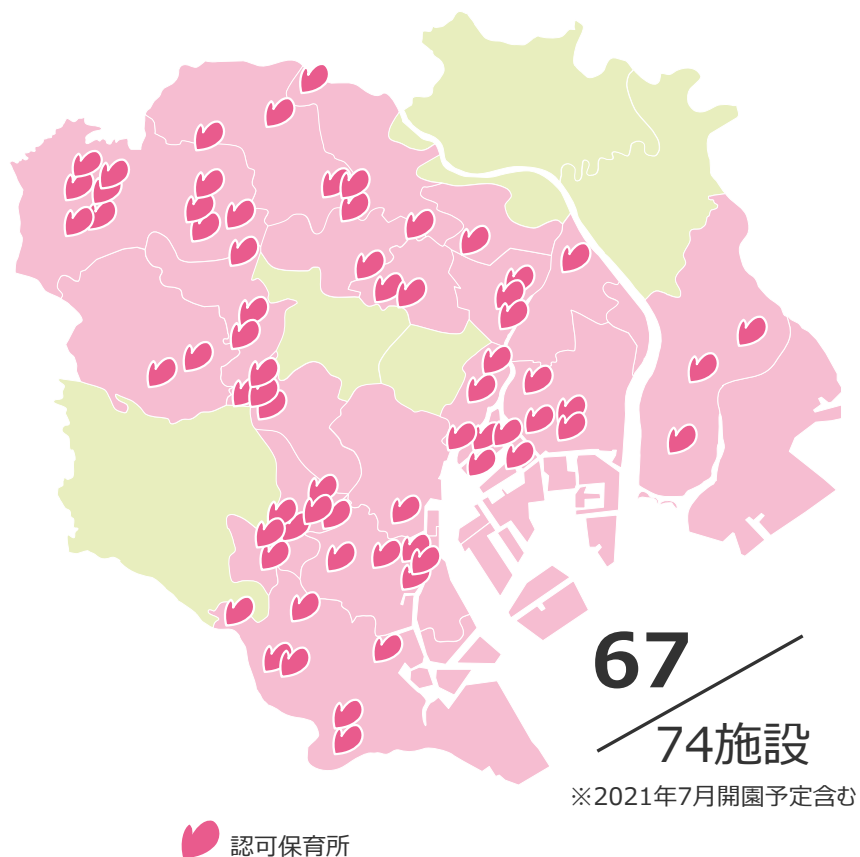
保育所開設に伴う補助金収入などにより、通期では経常利益、当期純利益とも増益を計画しております。

(百万円)	2020年7月期 実績	2021年7月期 予想	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	7,629	<b>9,613</b>	1,984	26.0%
営業利益	241	<b>462</b>	221	91.9%
営業利益率	3.2%	<b>4.8%</b>	—	—
経常利益	1,494	<b>1,683</b>	189	12.6%
経常利益率	19.6%	<b>17.5%</b>	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	933	<b>1,069</b>	136	14.5%
従業員数(人)	1,313	—	—	—
保育所数(施設)	60	<b>74</b>	14	—
東京都認可保育所数(施設)	53	<b>67</b>	14	—

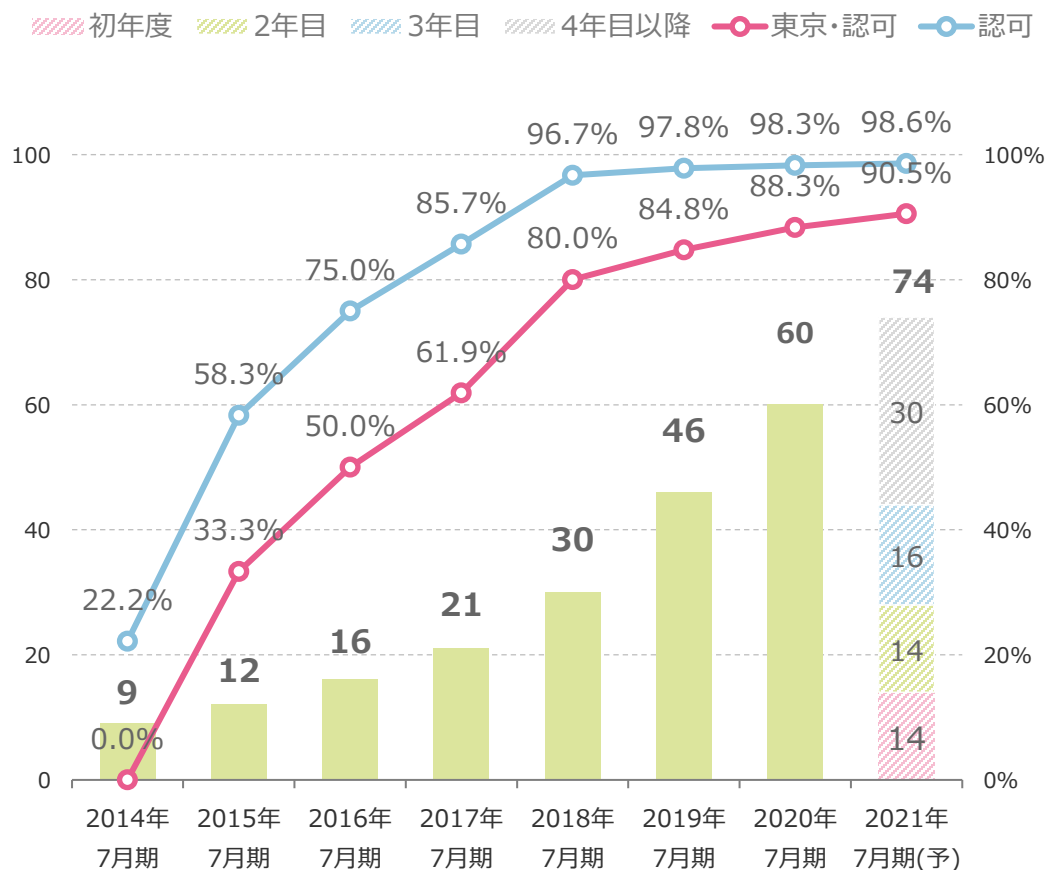
東京都は認可要件・基準が厳しい一方、補助金が充実しており経営の安定成長に寄与します。

現状、さくらさくみらいは88.5%（54/61施設）が東京都の認可保育所です。東京都の認可保育所の比率は2021年7月期には、さらに90.5%（67/74施設）へ上昇する予定です。

## 当社保育所の東京都認可保育所所在地




## 当社保育所の施設数推移および東京・認可保育所比率



2021年7月期に開設予定の14施設が、東京都より計画実施についてすでに承認済み。1月にはさくさくみらい下目黒が開設し、残りの13施設も当初のスケジュールに沿って順調に進んでいます。加えて、2022年7月期の計画実施についての承認もおり始めています。

2021年7月期 開設予定施設		開設予定	行政区分	最寄り駅と駅からの所要時間		定員
1	さくさくみらい下目黒	2021年1月開設済	目黒区	不動前	徒歩8分	60名
2	さくさくみらい弥生町		中野区	中野新橋	徒歩8分	73名
3	さくさくみらい東品川		品川区	青物横丁	徒歩6分	70名
4	さくさくみらい旭町		練馬区	地下鉄成増	徒歩11分	84名
5	さくさくみらい西六郷		大田区	雑色	徒歩13分	73名
6	さくさくみらい三好		江東区	清澄白河	徒歩5分	64名
7	さくさくみらい下赤塚		板橋区	下赤塚	徒歩5分	75名
8	さくさくみらい成増		板橋区	地下鉄成増	徒歩2分	68名
9	さくさくみらい西永福		杉並区	西永福	徒歩8分	64名
10	さくさくみらい東仲通り		中央区	月島	徒歩3分	78名
11	さくさくみらい築地		中央区	築地	徒歩1分	65名
12	さくさくみらい蔵前		台東区	蔵前	徒歩3分	48名
13	さくさくみらい下谷		台東区	入谷	徒歩5分	74名
14	さくさくみらい西日暮里	2021年7月	荒川区	西日暮里	徒歩7分	78名
2022年7月期 開設予定施設		開設予定	行政区分	最寄り駅と駅からの所要時間		定員
1	さくさくみらい佃	2021年10月	中央区	月島	徒歩3分	64名
2	さくさくみらい豊玉北	2022年4月	練馬区	桜台	徒歩8分	84名
3	さくさくみらい木場		江東区	木場	徒歩6分	64名

\*所要時間前提条件 = 徒歩1分 = 80mとして10分圏内 = 約800m

\*  に白文字は2021年2月に新規の計画承認

- ♥ 本資料は、当社の事業及び業界動向に加えて、当社による現在の予定、推定、見込みまたは予想に基づいた将来の見通しについても言及しています。
- ♥ これらの将来の見通しに関する表明は、様々なリスクや不確実性が内在します。
- ♥ すでに知られたもしくは知られていないリスク、不確実性、その他の要因が、将来の見通しに関する情報に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。
- ♥ 当社は、将来の見通し、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の見通しと大きく異なることもありえます。
- ♥ 本資料における将来の見通しに関する情報は、2021年3月12日現在において、利用可能な情報に基づいて、当社によってなされたものであり、今後、新しい情報が入った場合においても、当社は本資料に含まれる見通しに関する情報の修正や更新を行う義務を負うものではありません。

さくらさくプラス

SAKURASAKU PLUS